

2020(令和2)年11月9日

今後の進め方について

現状

- 現時点では新型コロナウイルス感染症の重症化のリスク因子等に関する知見が患者数の多い疾患などに限られている。
 - ワクチンが開発中であることから、ワクチンの安全性、有効性等の知見が限られており、また実際に接種されるワクチンは決まっていない。
- ※ 2009年の新型インフルエンザ対策においては、関連学会から意見を聞き、「新型インフルエンザワクチンの優先接種の対象とする基礎疾患の基準 手引き」を定めている。当該手引きにおいては、ワクチンの供給量が限られていることを踏まえ、優先接種の対象とする基礎疾患の基準について定めるとともに、その中で最優先して接種する者の基準も細かく定めている。

今後の進め方(案)

- 高齢者・基礎疾患の範囲についての検討には医学的な専門性が必要であることから、検討の参考とするため、関連学会に意見を求めることとしてはどうか。
- 接種されるワクチンが明らかになっていない段階では、検討の時点で考えられる高齢者及び基礎疾患を有する者の範囲を本部会として示すこととしてはどうか。
- 患者数の少ない基礎疾患が、新型コロナウイルスに感染した症例数が少ないためエビデンスがないという理由だけで、基礎疾患の範囲から漏れてしまわないよう、配慮する必要があるのではないか。
- なお、接種されるワクチンが明らかになり、安全性、有効性に関する国内外のデータ及びワクチンの供給量等について追加の情報が得られた際に、必要があれば基礎疾患の範囲を見直すこととしてはどうか。

関連学会への依頼(案)

意見を求める関連学会

- 2009年の新型インフルエンザにおける対応を参考に、以下の学会に意見を求めています。

新型インフルエンザワクチンに関する意見交換会に意見等を提出した学会

学会名	当時の意見書に記載されている主な疾患等
日本呼吸器学会	慢性呼吸器疾患、呼吸機能の障害、誤嚥
日本肝臓学会	肝硬変
日本腎臓学会	腎不全、透析、免疫抑制(ネフローゼ等)、腎移植
日本透析医学会	透析
日本感染症学会	HIV、リスクファクター全体
日本神経学会	免疫抑制(多発性硬化症等)、パーキンソン病等
日本血液学会	造血器腫瘍
日本アレルギー学会	喘息
日本老年医学会	高齢者
日本小児科学会	小児
日本産婦人科学会	妊婦
日本臨床腫瘍学会	悪性腫瘍
日本糖尿病学会	糖尿病
日本循環器学会 (※)	慢性心疾患
日本リウマチ学会 (※)	免疫抑制、生物学的製剤(膠原病等)
日本内分泌学会 (※)	副腎皮質機能低下、クッシング、甲状腺疾患
日本消化器学会 (※)	消化器のがん(担がん、免疫抑制抗がん剤治療)

※ 意見書の提出はなかったが、優先接種の対象とする基礎疾患の基準手引きには記載あり。

関連学会に依頼する検討の内容

- 今般の新型コロナウイルスワクチン接種の接種順位の上位に位置づけるべきと考えられる基礎疾患をもつ者の範囲について、医学的な観点から検討し意見をまとめることを依頼してはどうか。

※ 基礎疾患の範囲については『新型インフルエンザワクチンの優先接種の対象とする基礎疾患の基準 手引き』の「優先接種の対象とする基礎疾患の基準について」の部分の修正点及びその理由

※ なお、高齢者の範囲について、学会から意見がある場合には、併せて意見を求めることとする。